

MURAMATSU通信 SPECIAL

保存版

洋銀製/銀製ムラマツ・フルート
EXmodel/GXmodel
基本モデルに込めた想い

四〇〇〇〇^{キロメートル} 籽を渡る、遺伝子。

白鳥の雛は生後45日前後で自立し、3ヶ月ほどで飛べるようになります。

雛が飛べるようになる頃は、生まれ故郷は氷に閉ざされ、

餌が採れなくなる季節。

白鳥たちは餌を求め、越冬地へと

四〇〇〇キロメートルにもおよぶ旅に出ます。

驚かされるのは、生後数ヶ月の幼鳥が、

親と同じ距離を渡るだけの能力を備えていること。

それは、脈々と種を繋いでいくための、

遺伝子の意思。

ムラマツ・フルートのすべてにも、

日本で初めてフルートを完成させた

情熱と愛情と技という遺伝子が、

すみずみまで受け継がれています。

——フルートが素敵なものになるために。



01 笛吹きとの対話・吉田雅夫先生
●青木 宏

03 **特集** 洋銀製/銀製ムラマツ・フルート
EXモデル/GXモデル

10 記憶に残る、このフルート・モデル 180/R180

11 音楽史の扉・キエフ資料のフルート作品
●白尾 隆

13 ムラマツ・フルート ラインナップ

吉田雅夫先生 先生とともに歩んだ ムラマツ・フルート

村松フルート製作所 ○ 青木 宏



吉田雅夫 (よしだまさお)
(1915年1月2日～2003年11月7日)

慶応義塾大学法学部卒業。
コンセル・ポピュラー、
ピクチャー・オーケストラを
経て1942年から日本交響楽
団(後のNHK交響楽団)の
首席を21年間務めた。
東京藝術大学教授、日本フ
ルーツ協会会長を歴任。
演奏者・教育者として、日本
フルート界の発展に尽力し、
多大な功績を残した。

深夜に門をたたく

私がムラマツ製作所に入社したのは1967(昭和42)年。初出勤した日、先代社長の村松治さんが、歌舞伎町に夕飯を誘ってくれました。そして車で帰る途中、社長がやたら「御大に会いに行こう!」と言うのです。新人ホヤホヤの私は「なんのこっちゃ?」でしたが、社長はある家の前で車を降り、戸をたたいたのです。するとそこに出ていらつしゃったのが、なんと吉田雅夫先生その人でした。これが初対面。お宅に上がらせていただいた、社長から紹介してもらったのですが、もう酔いはすっかり醒めてしまいました(笑)。

そして、社長の勧めで先生にレッスンをさせていただくことになったのです。先生は藝大の授業や、演奏家としてのご活躍でお忙しいのに、快く引き受けてくださいました。

何をしたらよいか、目標を持って

それからは2週間に1度くらいのペースで、日曜日に先生のお宅に伺って1時

間ほどのレッスンを受けました。内容はフルートの演奏から、音楽のとらえ方、歴史や理論まで、実に多岐にわたっていました。

最初に教わったのは、忘れもしないモイーズ先生の「24の旋律的小練習曲と変奏」の第1番です。この第1番はシンブルな構成の中に、音楽が発展していく様子の音楽のエッセンスがすべて書き込まれています。このエチュードをモイーズ先生ご自身が演奏したレコードがありました(現在、ムラマツからCDが出ています)。まずはそれをよく聴いて、モイーズ先生が何をどう表わしているのか、そのように吹けるためにはどうしたらよいか。それがレッスンの核心であり、最初の目標でした。何をすべきなのかを理解し、自分の頭の中に目指すべき理想の音が鳴っている状態をつくれ、ということですね。

第1番の「ソードミミール」のフレーズで、第1小節4拍目の「ミ」と、第2小節1拍目の「ミ」は、音程や音色、吹き方が違うのです。最初の「ミ」は和声音で、次の「ミ」は非和声音です。このことを、いかに音楽的に表すか。それがうまく展開できれば、聴いていておもしろい音楽になっていきます。こうした要素はすべての音楽のあらゆるパッセージの中に含まれているのです。

独学でフルートを吹いていて何もわからなかった私に、こうしたベーシックなまでの音楽を学ばれましたが、日本ではフルートや西洋音楽について、まだ普及も研究もほとんど進んでいない時代でしたから、白紙の状態から全部ご自分で勉強してこられたわけで、それは生やさしいことではなかったはずですよ。

力を注いでいただいたフルート製作

もともと先生はムラマツとは深い関わりをお持ちで、戦前、創業者の孝一さんが銀食器を溶かして先生のフルートを作ったそうです。私も先生がご活動を続けていた間は、ずっと親しくおつきあいをさせていただきました。その間、たくさん貴重なご意見をいただき、よりよい笛を目指して日々研究を続けてくることのできたのです。

製作所でモイーズ先生のフルートをコピーしたとき、先生はモイーズ先生の楽器をご覧になって「これだよ!」と声を上げられました。モイーズ先生の楽器は、「ミ」のトーンホールが少し大きいのです。そのため、例の第1番の「ソードミミール」の「ミ」が音楽的な音程で的確に鳴るのです。このことから、先生のご協力のもとに、長い時間をかけてピッチの改良にとりかかったのです。

たいへん優れた耳をお持ちの先生ですから、音程や音色に関しては実にシビアでした。目標はフレンチ・スクールの明

ところから事細かに説明をしていただき、フルートと音楽というものを徹底的にたたきこんでいただきました。ですから、先生の一言一言が目からウロコの素晴らしい体験でした。

ファンタジーをもって演奏する

しばらくすると、いろいろなことが見えてきはじめるのですが、一方、知れば知るほど、わからなくなるところも増えて、私としては混乱のきわみでしたが(笑)、6年後には、モイーズ先生の東京での公開レッスンに参加するまでになったのでした。

モイーズ先生といえば、この第1番について、スイス、ボスヴィルの講習会でこんなことを言われています。日曜日の朝、気持ちよく晴れた日に、ひなびた木造の教会の中に入っていくと、建物の板の間から朝日が木漏れ日のように落ちてくる、その清らかで美しい光を仰ぎ見る——そういう音楽だということです。

これは素晴らしいファンタジーだと、私はとても感激しました。こうしたファンタジーやイマジネーションを持ち、それを表現するための論理的な方法をきちんと身につけることが、演奏の根幹なのです。吉田先生も、私にそのことを伝えようとしたのです。

先生がモイーズ先生に初めてお会いになったのも、1972年、ボスヴィルの朗で美しい音色です。試行錯誤の連続、修正に修正を重ねる毎日でしたが、たいへん勉強になりました。先生のレッスンの基本は、自分で探って目標と手段をつかみなさいということでしたが、これは楽器づくりも同じことだと思います。そしてあるとき、先生の口から「ウチの笛は」という言葉が出てきたのです。これはものすごくうれしかったですねえ!

先生には遠慮なくどんなことでも言えました。それは先生の広いお心、そしてフルートという楽器と音楽への深い情熱ゆえだったのだと思います。私どもがいただいた先生からのお力添えは計り知れません。先生がいらっしゃらなかつたら、いまのムラマツ・フルートは存在しなかつたといってしまうでしょう。

先生は典型的な笛キチでした。笛がすべてで、片時も笛を離さなかった。ステージを去られたあとも、フルートの音楽と文化を広めることに関しては、最後までやり通されました。私たちフルートを愛する者にとって、かけがえのない方だったと思います。



マルセル・モイーズ先生の講習会にて。

講習会に客員として招かれ、日本の生徒たちを引率していったときでした。モイーズ先生はこれにたいへん感激され、先生のためにエチュードを書いて、「賛意、感謝、そして友情のしるしとして」プレゼントしてくださいました。赤と黒の2色で手書きされたとても綺麗な譜面は、先生の宝物となっていました。

カラヤンの推薦でヨーロッパへ

先生はまったくの独学でフルートを始められました。中学生の頃に健児音楽隊というブラズバンドに入って、はじめピッコロ、やがてフルートを吹いていたのですが(バンドの指揮者は俳優の上原謙「加山雄三のお父さん」、モイーズ先生のレコードにめぐり合っ「自分の求めている音はこれだ!」——先生の鋭敏な音楽のアンテナに触れたのですね。

先生は1942(昭和17)年からNHK交響楽団の前身である新交響楽団で首席フルートを吹いておられました。戦後1954年にカラヤンが初来日してN響を指揮したとき、先生のフルートをたいへん高く評価し、カラヤンの推薦で翌年戦後音楽器の留学第1号となってヨー



ハンス・レズニチェック先生と。



アンドレ・ジヨネ先生との食事風景。

ロッパに行かれたのです。カラヤンが学ぶべき師として名前を挙げたのがアンドレ・ジヨネさんでした。

先生はチューリヒにひと月ほど滞在してジョネさんに学び、その後、ウィーン・フィルの首席フルート奏者だったハンス・レズニチェックさんにつかれました。ジョネさんはモイーズ先生に学んだ名フルーティスト。先生はジョネさんからフレンチ・スクールのエッセンスを学び、レズニチェックさんからはテクニックを身につけられたようです。

ヨーロッパ留学ではバロックから近代



「EXはムラマツのラインナップの中で、
最もお求めやすい価格のため、特に日本
国内では、このモデルでフルートを始め
るお客さまも多いのではないだろうか。
一方で、クオリティのうえからは、決し
てビギナー向けに限定されたモデルでは
ありません。初心者からプロの演奏者ま
で、全てのユーザーに向けて作られた基
本のモデルといえます。」



奏でる悦びが、
ここからはじまる

洋銀製/銀製
ムラマツ・フルート
EX MODEL
GX MODEL

基本モデルに込めた思い——
2つのモデルについて埼玉県所沢市の
村松フルート製作所で話を聞いた。

HANDMADE
EX MODEL

洋銀製：管体、メカニズム（銀メッキ）
銀製：頭部管
A:442 Hz.

洋銀製のハンドメイド

ムラマツの各モデルの相違点は、素材の違いによる音色の差といっても過言ではない。ハンドメイドへのこだわりについて、製作所のスタッフはこう語る。

「EXの場合も、工法や使われている部品、キー・メカニズムなど、細部にわたって他のモデルと区別なく作られています。EXだからこの精度でいいだろう、といった妥協は一切ありません。どこをとっても、ムラマツとしてのこだわりがあるのです。一方で、洋銀は銀よりも、フルートを製作する上で難しい一面があります。トーンホールの引き上げやヤスリをかけるうえで、素材に合わせた作業が必要でし、溶接する際には、熱のかけ方などが銀とは違います。一般的に価格の低い製品のほうが、時間や手間をかけていないように思われますが、必ずしもそうではありません。」



何をもって『ハンドメイド』というのかについては、メーカーによっても違いがあり、共通の定義はないのですが、キーの形状やトーンホールのハンドダブけなどが、ハンドメイドの要素とされることもあります。物理的にどこまで手作業であるか、というよりは、むしろ全体の工程を管理している熟練度、判断力、すべてにきちんと目が行き届いている、そうしたことも含めて、総合的にハンドメイドとムラマツでは考えています。」



写真左上／

3オクターブ目のE音を出しやすくするEメカニズムはEX・GXともに選択が可能。写真はリングキーでEメカニズムを選択した時のスタイル。

写真左下／

メカニズムを通して開閉するカップにつけるポイント・アームは、カップの強度を増して安定感を高める役割を果たす。1995年のEXから、このクラスのモデルにも採用されている。

洋銀製の音色

フルートに吹き込まれた息がリードのように振動して音となり、管体・メカニズムへと伝わっていく。その音色は素材に使われる金属、特にその比重(同じ体積にした場合の重さ)によって大きく変わるといわれている。洋銀製の音色と、その可能性について次のように語る。

「重いフルートを振動させるためには大きなエネルギーが必要ですから、吹いた時に相応の抵抗感が出てきます。軽いフルートは振動しやすいので、洋銀製は鳴らしやすく、音色は銀よりも少し明るめになります。皆さまもご存知のフルート製作者、テオバルト・ベームは、『ベーム式フルート』開発当初から、銀と洋銀を素材として採用していました。また、ベームと親交があり、『ベーム式フルート』とフランスのフルート界の発展に大きく寄与したフルートメーカー『ルイ・ロー(ロット)』も、当初から銀と洋銀を採用していました。因みに当時、洋銀製の価格は総銀製の約7割で、素材によって楽器としての優劣をつけていなかったことが十分推測されます。オーレル・ニコレさんの最初のフルートは洋銀製だったそうで、第二次世界大戦後『国際コンクール』として再開されたジュネーブのコンクールでは、洋銀製のフルートを携えて優勝されています。前回の通信でご紹介したマルセル・モイーズ先生も、洋銀製のフルートを演奏されていました。また、最近まで、特に『旧東ヨーロッパ』の若い演奏家の方達は、当時の経済状況下で総銀製のフルートを個人で購入することは不可能な状況でした。そういった背景から、初心者用・専門家用といった区別をすることなく、洋銀の魅力・可能性を改めて探り出す中で生まれたモデル、それがEXとGXです。」

EX・GXともにC-footとH-footの選択が可能。H音が出せることに留まらず音色やバランスにも違いがある。



HANDMADE GX MODEL

銀製：管体
洋銀製：メカニズム(銀メッキ)
A: 442 Hz.



写真上・下/
管体に加えて、管に溶接されるパーツ(リング・座金・ポスト)までもが銀で作られている。

総銀製に最も近いGXモデル

GXモデルは、管体・座金・ポストが銀製で、キー・メカニズムは洋銀製(銀メッキ)で作られている。総銀製のDSモデルに限りなく近い存在ではあるが、ひと味違う新鮮な音色を楽しむことができるという。

「GXはメカニズムが洋銀製ですから、総銀製のDSも含めて吹き比べれば、音色の違いを感じていただけたと思います。楽器の重量に対してメカニズムが占める割合は意外に高く、メカニズムの素材が違うと音色にも大きな違いが表れてくるのです。また、ムラマツのラインナップは全て同じ、一つの製作方針によって作られていますので、全てのモデルに通じる一貫性があります。どのモデルをとっても、これはムラマツだ、というテイストを感じてもらえると幸いです。」



MODEL 180/R180

モデル180はカバードキー仕様、
モデルR180はリングキー仕様。

1980年代に入り登場したモデル180は管体銀製、メカニズム洋銀製で
材質のうえでは、現在のGXモデルに相当する。

GXモデルと大きく異なるのは、
メカニズム部分に銀メッキを施していないこと。

見た目にもその違いははっきりとわかる。

銀の種類や管厚、リッププレート^①の形状等は時代を追う毎に変更され、
1990年代半ばの生産終了まで約1万本が製造された。

そして、その遺伝子はGXモデルへと受け継がれている。



これまで、そして、これからのEX・GXモデル

製作所のスタッフは声を大にして、そこに材質の違いはあっても製作に関する一切の妥協がないことを繰り返す。そして最後に、洋銀を素材に使うフルートについて、こう締めくくった。

「ムラマツがフルートを作り始めた当初は、フルートという楽器を世に普及させることが大切な目的でしたので、求めやすい価格の洋銀で作っていました。同時に、プロの演奏家が納得する総銀製フルートの製作を最終目標とし、様々な研究を重ねてきました。その過程で、洋銀製モデルに銀の部分を組み合わせるスタイルが実用・製品化されたのです。」

現在、洋銀部分には銀メッキを施し、音色に大きく影響する頭部管は、EXをも銀製にすることで、本来の明るく軽快な音色に、重みと深みを加えています。この頭部管も、他の全ての部分同様、品質のうえで他のモデルとの違いは一切ありません。

EXとGXは、ムラマツの基本モデルです。そこにはムラマツの伝統と最新技術の冴えが、余すところなく注がれています。そして、材質による音色の違いを楽しんでいただけのフルートの醍醐味も、ムラマツならば可能なのです。ぜひ一度、それぞれの素材の特性、また素材の組み合わせによる個性の違いを、お近くの楽器店で体感して下さい。」



このシリーズは作曲家の生涯や時代背景、そして作品等についてお楽しみいただくコーナーです。今回は、第二次世界大戦後行方不明になり、1999年にキエフで見つかった膨大な音楽コレクションの中のフルート作品をご紹介します。

1

1999年10月、ウクライナ共和国のキエフで、ベルリン・ジングアカデミーの所蔵していた5200点もの資料、楽譜、書籍類が発見されました。これは第二次世界大戦後、旧ソヴィエト連邦に持ち去られ、行方不明になっていたものです。この20世紀最大級の発見を成し遂げたのはハーヴァード大学の研究チームでした。調査の中心人物には、素晴らしい著作『ヨハン・ゼバスティアン・バッハ…学識ある音楽家』(春秋社)を著わしたクリストフ・ヴォルフがいます。

ベルリン・ジングアカデミーは1791年に創設され、今日も活動する世界有数の合唱協会です。もともと音楽愛好家の私的な集まりから発展し、銀行家であるメンデルスゾーンの父アブラハムなどの裕福な市民たちの参加や後援のもと、カール・フリードリヒ・クリスティアン・ファッッシュ(1736-1800)により設立されました。初代指揮者に就任したファッッシュは、かつてフリードリヒ大王の宮廷で第二チ

エンバリストを勤めており、第一チェンバリストであったカール・フィリップ・エマヌエル・バッハの弟子であり、同僚でした。ベルリンのエマヌエル宅に下宿していた時期もあります。ファッッシュの死後、二代目の指揮者となったカール・フリードリヒ・ツェルター(1758-1832)は、ファッッシュの弟子であり、ゲーテと親交深く、門弟にはメンデルスゾーンがいます。大バッハを尊敬する師ツェルターの影響もあり、弱冠20歳のメンデルスゾーンは1829年、ベルリン・ジングアカデミーを率いて、初演から102年ぶりにJ.S.バッハのマタイ受難曲の再演を果たしました。

文化を嫌い蔑んだプロイセンの狂人の軍人王フリードリヒ・ヴィルヘルム一世の死後、その息子のフリードリヒ大王は、父王とは真逆の政策を行います。それは音楽界を隆盛させ、ベルリン・オペラを開設し、多くの文化人、芸術家、思想家等を集めて「ベルリンを世界有数の文化都市に変える」というもので

れ、レヴィイ家の夜会で初演されたものでしょう。現存するフリーデマン・バッハの唯一のフルート協奏曲であり、大変貴重です。

エマヌエル・バッハの協奏曲には、すでにクラヴィアア稿が存在しており、演奏されています。しかし、フルート稿については、古い音楽商店のカタログ(J.U.リングマッハー・1770年

した。これは、後世のドイツ、ベルリンに計り知れないほどの豊かな実りをもたらしましたが、啓蒙思想下のこの時代、音楽が教会と王侯貴族の独占的状態から離れ、知的で裕福な市民階層の重要な楽しみともなり、多くの音楽愛好家が生まれます。その流れの中でベルリン・ジングアカデミーは誕生しました。そして彼らは活発な演奏活動と共に、重要な作品や著作の収集にも力を注ぎます。これは合唱関係のものに限定せずあらゆるジャンルに及び、また存命中の作曲家の作品と共に過去の巨匠たちの作品を収蔵する、という点に重きが置かれました。2001年12月1日、キエフ資料は半世紀の歳月を経てドイツに里帰りし、ベルリン国立図書館に保管されましたが、その中には、大バッハ親子の約410点を始め、ヘンデル約100点、テレマン約250点、ハイドン約60点、モーツァルト約30点の資料が含まれています。まさに世紀の大発見でした。

代)に唯一記載されているのみで、長くその存在の可能性が語られるだけでした。今回そのフルート稿が確認され、2002年いち早く出版され、今まで5曲であったエマヌエルのフルート協奏曲が全6曲になったのです。

ここに1835年、ゲヴァントハウ



フェリックス・メンデルスゾーン (1758-1832)



カール・フリードリヒ・ツェルター (1809-1847)

白尾隆

桐朋学園芸術短期大学 特別招聘教授
武蔵野音楽大学、広島エリザベト音楽大学 講師
ムラマツ・フルート・レッスンセンター・マスタークラス講師

資料の返還後、早くも出版された3つのフルート作品をご紹介します。

● G・P・テレマン / 2本のフルートのための9つのソナタ TWV 40.. 141-149

● W・F・バッハ / フルート協奏曲ニ長調 B R W F B C 15

● C・P・E・バッハ / フルート協奏曲ニ長調 W Q 13

テレマンの9つのソナタは、フリードリヒ大王のフルートの師であるクヴァンツが、教育目的のために著わした「Solfeggi」に記載した旋律の断片の

みにより知られていましたが、今回の発見によりその完全な存在が確認されました。この手稿譜はヴィルヘルム・フリーデマン・バッハのフルート協奏曲共々ザラ・レヴィイが所有し、後にベルリン・ジングアカデミーに寄贈されたものです。このザラ・レヴィイ(1761-1854)という人はベルリンの銀行家の娘であり、メンデルスゾーンの大叔母にあたります。彼女は、晩年ベルリンに在住したフリーデマン・バッハについて専門的にチェンバロを習い、長じてはサロンを主宰し当時のベルリン文化を支えた重要人物の一人でした。このフルート協奏曲は、おそらくフリーデマン最晩年にザラのために作曲さ



◀ベルリンのジングアカデミー
▼メンデルスゾーンが描いたトーマス教会とトーマス学校の水彩画



ンデルスゾーンが、ライプツィヒの自宅の窓から描いた美しい水彩画があります。中央に鐘楼のある聖トーマス教会に隣接する、聖トーマス学校とカントル住居の横長の建物が見えます。残念ながら現在は失われましたが、かつてJ.S.バッハが暮らした活動したその建物が、この時代にはまだ存在していたのです。建物右下に見える門のすぐ上の二階の部屋、南側と西側の一つずつ窓のある小さな角部屋がバッハの仕事部屋、作曲室です。日々どのような思いでメンデルスゾーンは眺めていたことでしょうか。ベルリン・ジングアカデミーについて調べてみますと、そこに一本の太い流れを感じます。流れの源の一つは画期的な文化政策を押し進めたフリードリヒ大王であり、もう一つの大きな源泉は、J.S.バッハです。彼が教育しベルリンで活動した二人の息子や弟子たち(アグリコラやキルンベルガーなど)、ジングアカデミーを創立したファッッシュのような孫弟子や、さらにその弟子のツェルターたち、そして彼らを敬愛し、その影響の下、過去の巨匠たちの作品を大事に保管し演奏していった市民たち。その次世代の中からメンデルスゾーンのような音楽家が生まれます。彼らの明るく健全で合理的な、豊かで力強い「夢」に憧憬と羨望を覚えます。

あなたの町のムラマツと出会える店

北海道	(株)ヤマハミュージックリテイリング 札幌店… 札幌市中央区南10条西1丁目1-50	011-512-6111	愛知県	村松楽器販売(株)名古屋店… 名古屋市中千種区今池 5-1-5	052-733-8822
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 五稜郭店… 函館市本町23-2	0138-52-2955		(株)ヤマハミュージックリテイリング 名古屋店… 名古屋市中区錦 1-18-28	052-201-5153
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 旭川店… 旭川市4条通8丁目日本生命4条通ビル	0166-27-0620		バルドン楽器(株)… 名古屋市中区金山 1-17-1 アスナル金山 2F	052-331-3383
	タケダ楽器(株)… 北見市大通西3-7-1	0157-23-3191		ヨモギヤ楽器(株)… 名古屋市熱田区神宮 2-1-5	052-681-0251
青森県	(株)成田本店… 青森市新町1-13-4	017-723-2431		ミュージックメイト マツイシ… 半田市泉町 36	0569-24-0675
				(株)植村楽器… 名古屋市中千種区内山 1-1-10	052-722-1682
岩手県	(有)伊藤楽器店… 盛岡市中央通1-11-12	019-624-3854	滋賀県	(有)ウインドミュージック… 草津市若竹町 8-8	077-567-6333
山形県	(株)島山楽器… 酒田市栄町13-12	0234-22-8833		(株)JEUZIA 草津 A スクエア店 草津市西沢川 11-23-23A SQUARE内 SARA 2F	077-561-6570
	(株)富岡本店… 山形市七日町2-1-8	023-641-0644		サンクス楽器… 甲賀市水口町日電 1-15	0748-63-1466
				(株)塚本楽器… 近江八幡市堀上町 145-6	0748-33-5198
宮城県	(株)三立 仙台本店… 仙台市青葉区一番町1-12-23	022-265-6211	京都府	(株)JEUZIA 三条本店 APEX… 京都市中京区石橋町三条通寺町東入 11	075-254-3750
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 仙台店… 仙台市青葉区一番町2-6-5	022-227-8517		ユリ楽器(株)… 京都市上京区丸太町通千本東入	075-822-1818
秋田県	(株)ヤマハミュージックリテイリング 秋田店… 秋田市中通り 4-1-5	018-835-5091		(株)三字屋楽器店… 福知山市内記新町 51	0773-22-2215
福島県	(株)キクヤ楽器店… いわき市平字 2-21	0246-25-7171	大阪府	村松楽器販売(株)大阪店… 大阪市淀川区西宮原 2-1-3 SORA 新大阪 21 2F	06-6394-6000
	(株)ウインズ・ユーいわき店… いわき市平 1-1 ワンソントンホテル 1F	0246-25-5114		三木楽器(株)心斎橋店… 大阪市中央区心斎橋筋 1-9-4	06-6251-4596
茨城県	(株)永江楽器 水戸店… 水戸市桜川 1-5-15	029-226-6540		(株)国際楽器社… 大阪市中央区心斎橋筋 1-5-28	06-6252-0222
	(株)かわまた楽器店… 水戸市泉町 2-3-4	029-226-0351		(株)ヤマハミュージックリテイリング 心斎橋店… 大阪市中央区心斎橋筋 2-8-5	06-6211-8115
	(株)ウインズ・ユーつくば店… つくば市稲岡 66-1 イオンモールつくば 1F	029-896-6110		(株)コダマ楽器… 大阪市城東区鴨野西 2-16-8	06-6967-5511
	(株)ヤマハミュージックリテイリング つくば店… つくば市研究学園 C50 街区 1 イーアス 3F	029-868-7180		大東楽器(株)寝屋川店… 寝屋川市八坂町 16-4	072-839-1990
栃木県	(株)上野楽器… 宇都宮市江野町 4-6	028-633-4286	兵庫県	(株)森岡楽器… 西宮市池開町 1-35	0798-47-7372
群馬県	(株)煥乎堂… 前橋市本町 1-2-13	027-235-8116		(有)近藤楽器… 神戸市中央区布引町 2-1-12 コタニビル 201	078-230-6070
	(株)雪草楽器… 高崎市江木町 1727	027-325-6860		(株)ヤマハミュージックリテイリング 神戸店… 神戸市中央区元町通 2-7-3	078-391-7652
埼玉県	(株)下倉楽器 大宮店… さいたま市大宮区大門町 2-92	048-643-6500	鳥取県	(有)らばん… 米子市道笑町 1-3 BMEビル 2F	0859-34-5767
千葉県	(株)伊藤楽器 マイスター船橋店… 船橋市本町 1-9-9	047-495-3000		(有)はとや楽器… 倉吉市上井町 2-4-8	0858-24-6612
	(株)伊藤楽器 ららばーと店… 船橋市浜町 2-1-1 ららばーと 22F 2106	047-435-1074	島根県	(有)タカキ楽器店… 松江市寺町 199-1	0852-21-4509
	(株)伊藤楽器 松戸店… 松戸市松戸 1174-1	047-368-1161		(株)アツタ… 出雲市渡橋町 1210	0853-22-7322
東京都	村松楽器販売(株)新宿店… 新宿区西新宿 8-11-1	03-3367-6000	岡山県	(有)長谷川楽器店… 岡山市北区表町 3-3-20	086-225-2858
	(株)山野楽器 本店… 中央区銀座 4-5-6	03-5250-1062		(株)ヤマハミュージックリテイリング 岡山店… 岡山市北区表町 1-5-1	086-224-5333
	(株)山野楽器 ウインドクルー… 新宿区百人町 1-11-22 リサビル 2・3F	03-3366-1106		ミュージックハウス ワタセ… 岡山市北区津島本町 4-30	086-255-5611
	(株)下倉楽器… 千代田区神田駿河台 2-2	03-3293-7706	広島県	(株)広島アーツ楽器… 広島市中区八丁堀 9-6 ミナキビル	082-227-6601
	(株)下倉楽器 八王子店… 八王子市明神町 4-7-3	0426-46-7706		(株)ヤマハミュージックリテイリング 広島店… 広島市中区紙屋町 1-1-18	082-244-3780
	(株)谷口楽器… 千代田区神田駿河台 1-8	03-3291-2711		(有)ウインドブルー… 三原市円一町 4-1-35	0848-81-2111
	(有)フルーツパーク タニテック… 新宿区下落合 3-20-4	03-5983-7320		スガナミ楽器(株)… 福山市東桜町 7-1	084-923-6150
	(有)フルーツ専門店 テオバルト… 新宿区下落合 3-16-18	03-5983-0711	山口県	(株)下関十字堂楽器店… 下関市赤間町 3-31	083-223-2311
	(株)ダク… 新宿区百人町 2-8-9	03-3361-2211		(株)POPS-K 周南店ピアノ館… 周南市緑町 1-18	083-431-0012
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 銀座店… 中央区銀座 7-9-14	03-3572-3134	徳島県	(株)黒崎楽器… 徳島市通町 1-18-1	088-653-6615
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 池袋店 豊島区南池袋 1-25-11 第15野萩ビル	03-3988-2911		フルートの店 やまさん… 名西郡石井町石井字内容 261	088-642-1637
	(株)永江楽器… 杉並区高円寺南 3-37-13	03-3312-7591	香川県	(有)竹内楽器… 高松市観光通 1-2-16	087-862-5009
	(株)鈴木楽器… 町田市原町田 6-11-7	042-726-9811		(株)ヤマハミュージックリテイリング 高松店… 高松市丸亀町 9-3	087-822-2678
	スガナミ楽器(株)… 町田市中町 1-16-2	042-726-0311		(株)楽器堂オーパス イオン高松店 高松市香西本町 1-1 イオン高松 S.C. 1F	087-832-8016
	(株)宮地楽器 トップウインズ… 小金井市本町 5-15-9	042-387-1231	愛媛県	一色楽器(株)… 松山市千舟町 5-3-5	089-941-8034
神奈川県	(株)セントラル楽器… 横浜市神奈川区西神奈川 1-15-2	045-324-3111		(株)ヤマハミュージックリテイリング 松山店… 松山市千舟町 4-3-7	089-934-7006
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 横浜店… 横浜市西区南幸 2-5-9	045-311-1201	高知県	(有)高知楽器… 高知市本町 2-2-3	088-822-8422
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 藤沢ショップ… 藤沢市藤沢 969	0466-27-0231		(株)楽器堂 オーパス本店… 高知市相模町 17-21	088-824-1853
新潟県	(株)ヤマハミュージックリテイリング 新潟店 新潟市中央区東万代町 1-30	025-243-4311	福岡県	クレモナ楽器… 福岡市中央区大名 2-10-24	092-713-5303
富山県	(株)開進堂楽器 イオン高岡店 高岡市下伏間江 383 イオン高岡ショッピングセンター	0766-21-1029		(株)ヤマハミュージックリテイリング 小倉店北九州市小倉北区魚町 1-1-1	093-531-4332
	(有)ウインズラポ… 高岡市駅南 3-1-3 広島ビル 1F	0766-25-9323	長崎県	(有)アルス楽器 佐世保店… 佐世保市花園町 1-1	0956-23-5262
石川県	(株)開進堂楽器 楽器センター金沢… 金沢市駅西本町 6-3-21	076-221-2822		(有)アルス楽器 長崎店… 長崎市勝山町 15-2	095-820-5345
福井県	(株)松木屋 ミュージックファクトリー… 福井市日之出 5-16-21	0776-52-0711		(有)原田楽器店… 諫早市本町 4-2	0957-23-3337
長野県	(株)美鈴楽器 本店… 長野市北石堂町 1403-1	026-226-7633	熊本県	(株)大谷楽器… 熊本市中央区上通町 7-1	096-355-2248
	北条楽器… 岡谷市東銀座 1-6-1	0266-22-5924	宮崎県	(有)音楽工房トニカ… 宮崎市神宮 1-12 サンハイツ神宮 101	0985-29-9178
山梨県	内藤楽器(株)本店… 甲府市丸の内 1-17-7 2F	0552-35-7110	鹿児島県	(株)十字屋 CROSS… 鹿児島市中町 2-14	099-239-8585
静岡県	すみやグッディ(株)本店… 静岡市葵区呉服町 1-3-14	054-253-6222	沖縄県	(株)普久原楽器… 沖縄市胡屋 1-3-4	098-938-9375
	すみやグッディ(株)SBS通り店… 静岡市駿河区中田本町 56-5	054-282-3911		島村楽器(株) 各店舗	
	すみやグッディ(株)富士店… 富士市瓜島町 79	0545-55-3673			
	すみやグッディ(株)沼津店… 沼津市緑ヶ丘 2-5	055-926-1171			
	(株)ヤマハミュージックリテイリング 浜松店… 浜松市鍛冶町 321-6	053-454-4077			

MURAMATSU通信 SPECIAL 通巻 Vol.6

発行日 — 2014年10月30日

発行所 — 村松楽器販売株式会社

東京都新宿区西新宿 8-11-1 〒160-0023

協力 — 株式会社 村松フルート製作所

編集協力 — 有限会社 ラグタイム

●お問い合わせ 村松楽器販売株式会社 営業部 (03-3367-6000)

● <http://www.muramatsuf flute.com>

デザイン: 太田事務所 / 商品写真撮影: 細川 晃